

進路だより 2025

第 6 号

2025年 6月 2日 (月)

沖縄県立真和志高等学校

進路指導部

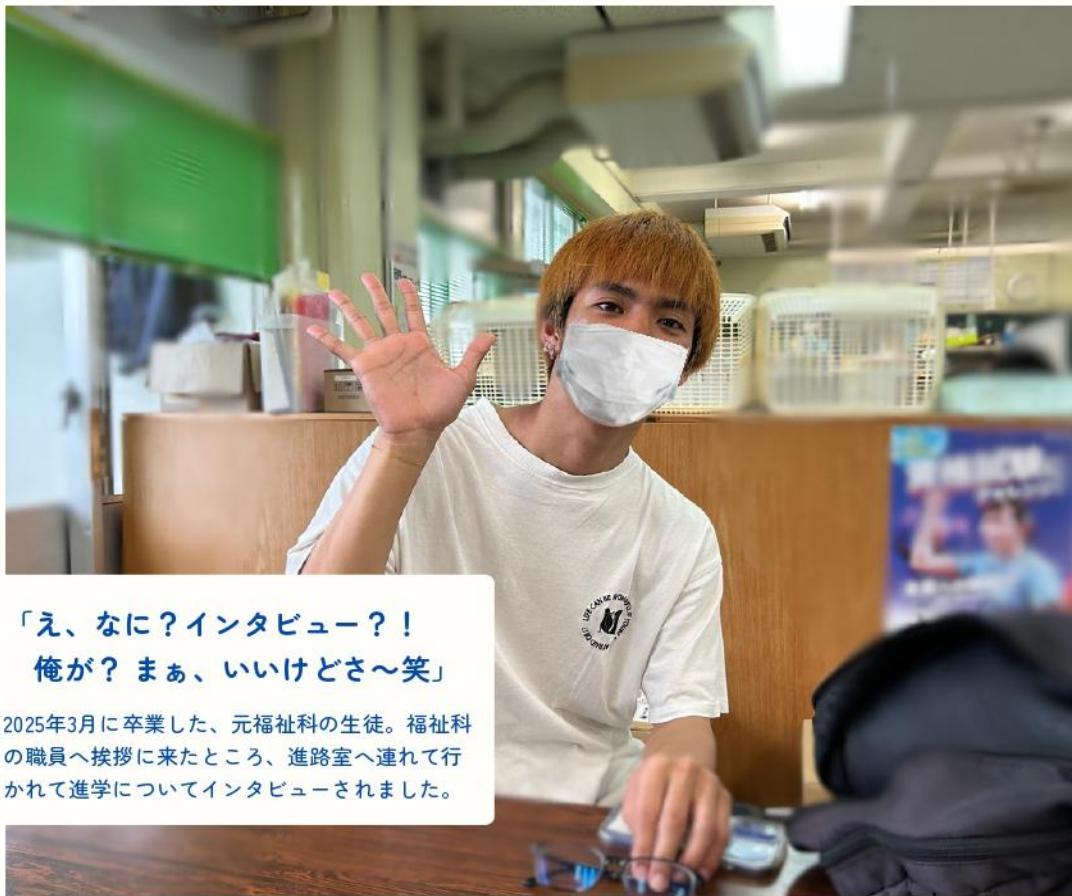
今年の3月に真和志高校を卒業した、元みらい福祉科の生徒が挨拶に来たので、インタビュー形式で大学生活や進路活動などお話を伺ってみた Vol.3 です。今回は福祉の生徒には関係の深い内容になっていると思いますので、ぜひご覧下さい♪

mawashi high school

卒業生へ正直インタビュー



福祉版



「え、なに？インタビュー？！
俺が？まあ、いいけどさ〜笑」

2025年3月に卒業した、元福祉科の生徒。福祉科の職員へ挨拶に来たところ、進路室へ連れて行かれて進学についてインタビューされました。



なんだか大人っぽい〜！！

進路指導主任から名刺をもらい、挨拶をする生徒（上写）また、3年生の時に進路のサポートをした先生と大学の様子を共有（下）

今年の3月に卒業した元みらい福祉科の生徒が、挨拶をしたいと顔を出しに来てくれました。卒業後の近況や後輩に向けてのメッセージをインタビュー形式で伺ってみました！

質問「沖縄女子短期大学の初等教育コースへ進学してみて、高校生との違いで驚いたことを教えてください」

卒業生「授業と授業の間に長い空き時間があったりして、高校みたいに決められた行動じゃないから戸惑ってしまっただけの最初の印象かなあ。あと、頭では分かっているつもりだったけど、授業を90分受けるのはめっちゃくちやきつい。しかも、教授はさ、高校の先生みたいにここ重要だから覚えてねとか言わないから！話した内容をメモ取ったりして、授業スピードに追いつくことが大変、大変！」

質問「後輩に向けて、進学などのアドバイスをください」

卒業生「僕は福祉科だったから、おもに福祉の生徒へ向けて伝えたい事があります。3年生は医ケアを絶対一発合格して、国試に力を入れること。そのためには、1年生の頃から進路先を決めておかないと、進路と国試と福祉の試験で心の余裕がでなくて、正しい判断できないと思う。って言ってもどうせこの話聞いてくれないと思うよ、先生（笑）。でもさ、これだけは信じてほしいけど。自分で納得いく進路を決めなかった友達や先輩は、みんな後悔しているって言うてる。やっぱ、他の人が楽しそうに見えるって、浅い考えで行動してしまった自分が悪かったって、悲しそうにしてるよ。」

続きは、「先輩と話そう」にて！

「大学って細かい規則ないし、高校より自由度高いけど、責任は自分で取らされるんだよなあ」

閲覧ありがとうございます！